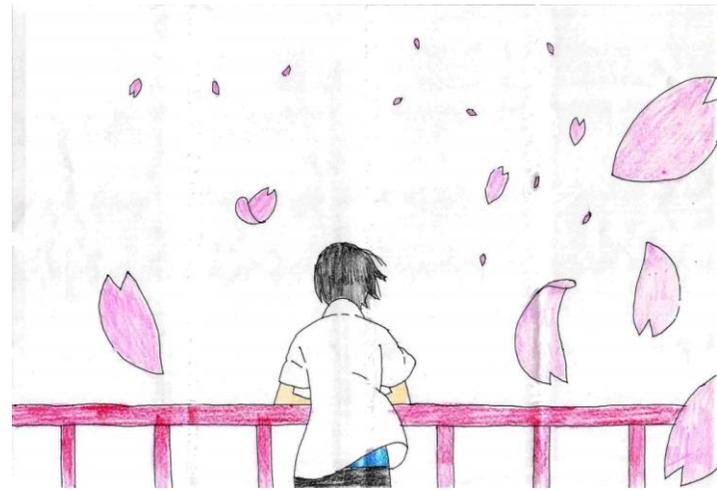


「家がいいね」 第155号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

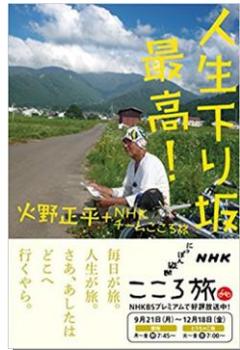
2017. 4. 7



「今年の桜は遅い」と、つい言います。それは、卒業式のためやら、入学式に間に合ったらと、ヒトの勝手な言い分ですね。桜も花も、丸裸で過ごしている自然の理（ことわり）の中で、咲きます。ヒトの暦のせつかちさを笑いつつ、咲いて散ります。

人生、下り坂、最高！

有名ではないが、その人にとって特別な場所を、自転車で訪ねる旅番組が続いています。体に坂道は、こたえる。峠を越えて、ペダルを漕ぐことから解放され、表題の言葉が普通に当たった裏話です。登ってきたからこその下り坂、それを人生として表現したことに、最高！と思います。



火野正平さんも、私と同年の67歳。輸送の旅がよく続くなあと感心します。体を動かし現地へ、ともかく行ってみる。等身大の旅の出会いと素朴な情景が、人々を惹き付けるのだと思います。

こころ旅 いせ

地元の等身大の歴史を、同様に知りたくなってきました。在宅医療やケアの場面で気がかりだった人たちと、今一度語り合えないかと思えます。気付けば、開院からもうじき15年が経ちます。知らない間に、関わりも親から子へ一回り二回りしてきました。リレートークなどもできそうです。

縁（えにし）の家は休憩所

早いもので、母屋を改装してから8年になります。つどい場として利用してもらっています。「自分たちだけの利用でしたら、500円で気楽にどうぞ。申込0596・63・5226

ホームホスピスは、ゆりかご！

1ヶ月前に開所した、民家改装の「あこや」の木造部分です。誰かの気配を感じながらの「とも暮らし」が可能です。うたた寝しても、「あれっ、ここは違う」と思うことも少ないようです。2階も十分に広く、腰を落ち着けての語り合いの場が期待できそうです。



聞き書き教室を、伊勢で開催の予定

早ければ8月に小田豊治さんを講師に、あこや2階を会場に予定。『終わりよければ』いせの会主催

秋山正子さん講演会、6月25日

暮らしの中で看とること
最期まで住み慣れた地域で
生ききることを支える

津市 三重県総合文化センター
みえ生と死を考える市民の会主催



連休の間も、連絡は大丈夫です

4月29日(土)、5月3日(水)〜5日(金) 暦どおり
休診です。この間も在宅患者さんからの連絡には対応します。
5月4日夜は、夜間診療所の当番に出務します。



自宅での人生を
最期まで支援します

〒516-0805
三重県伊勢市御園町高向 927
電話 0596-20-8104
ファクス 0596-20-8105
メール homecare@kr.tcp-ip.or.jp
ホームページ <http://isezaitaku.com>

↑バックナンバーはここで閲覧可